

新入荷商品のご紹介



伊那紬 名古屋帯
代々信州の女性たちが受け継いできた、軽くてやわらかくてしっとりとした風合いの名古屋帯です。
226800円



京友禅 桜柄名古屋帯
きものサロン2019春夏号掲載
上品な春の訪れを感じさせる、きものサロン2019年春夏号掲載の桜柄の名古屋帯です。
213840円



和想庵 トートバッグ
収容力抜群で、和装というよりも普段使いの洋装時に力を発揮してくれます。
33200円



印伝 小物入れ
ちょうどよいサイズの
小物入れは、小銭や宝
石などアイデア次第で
使い方は無限大。好き
な柄の小物入れをバッ
グに忍ばせておけば、
多用途に使えます。

2592円

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

きもの新聞 2019年3月号

ごあいさつ



3月に入り、庭先の草花も色づき、春の訪れを感じる今日この頃です。さて、4月には、新元号も決まり、新たな時代がはじまります。心機一転よいスタートがきれるよう、心構えをしておきたいものです。

4月の連休

4月2日(火) 3日(水)

特集 森田麻里さんの型絵染の魅力



かわちや新聞にもたびたび登場する型絵染。そんな型絵染の中でも最も大好きな作家の一人が、森田麻里さんです。実を言いますと、一番最初に型絵染を好きになるきっかけになった作家さんであり、自分自身の中でも着物のコーディネート幅を広げてくれた作家さんの一人です。森田さんはもちろんですが、型絵染の魅力は明るく色鮮やかな作品が多いこと。それは、型絵染が沖縄の紅型をルーツとしていることによるもので、沖縄の色鮮やかな色彩感覚と、発色の良い顔料を使って製作していることもその一つの要因といえます。

森田さんの作風は特に女性らしいかわいらしい柄が多く、春のお出かけにウキウキと楽しくなる作品が多いのも特徴です。

伝統的な着物の柄になじみの深い方は、少し慣れないかもしれませんが、型絵染の作家さんの多くは国画会や工芸会などで活躍されている作家さんが大半で、芸術的な側面も大きく、かわいらしい柄も意外や意外、年齢幅も広く、むしろ着物の魅力を十分わかった方たちに締めてもらいたい、身にまとうアートといえます。アート鑑賞や友人とのレストランでの会食にはぴったりの作品です。



きものサロン2019年春夏号120ページに森田さんの記事が掲載されています。

twitter、facebook、
アメブロやっています。

着物・和雑貨のかわちや
フェイスブックページ

<http://www.facebook.com/kawachiya888>

もっと着物を楽しもう！
かちゅうあんブログ

<http://ameblo.jp/kawachiya/>

日々、ブログを更新しています。
着物のこと、日常のこと、音楽のことなどつづっています。
チェックしてみてください。

呉服の河内屋

〒444-0521
愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子62
<http://www.gofuku-kawachiya.co.jp>
メール info@gofuku-kawachiya.co.jp
tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539